



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月10日

上場会社名 メディキット株式会社
 コード番号 7749 URL <http://www.medikit.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 景山 洋二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長管理部門担当 (氏名) 中島 崇
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3839-8870

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	16,448	5.9	3,319	4.8	3,393	4.3	2,128	1.6
2022年3月期第3四半期	15,534	4.5	3,488	13.1	3,546	11.9	2,161	17.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,409百万円 (11.0%) 2022年3月期第3四半期 2,170百万円 (20.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	126.81	
2022年3月期第3四半期	128.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	51,698	46,690	90.3
2022年3月期	51,057	45,772	89.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 46,690百万円 2022年3月期 45,772百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		60.00	60.00
2023年3月期		30.00			
2023年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,079	4.7	4,201	5.0	4,250	6.6	2,799	6.5	166.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社Bolt Medical 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	18,880,000 株	2022年3月期	18,880,000 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	2,093,120 株	2022年3月期	2,101,520 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	16,783,520 株	2022年3月期3Q	16,805,050 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7
(企業結合等関係)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の第7波による感染者数の増加が8月のピークを境に一旦落ち着き、11月からは第8波となる感染者数の増加が続いていますが、外国からの来訪者の入国制限が解除されるなど、感染拡大防止と社会経済活動との両立を図る動きが見られます。一方で、ロシアのウクライナ侵攻が続き、円安等の影響により原材料価格が高騰し、依然として景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社グループの属する医療関連業界におきましては、新型コロナウイルス感染症に対する懸念が続き、手術件数や検査件数の回復の動きにも影響が出ており、2022年4月の診療報酬改定に伴い対応が求められ、また社会保障の枠組みとしての医療提供体制の改革が継続的に行われるなど厳しい状況が続いております。

このような中で当社グループは、中期経営計画“NEXT300”を発表し、次なるステップとして売上高300億円を目標とし、品質の高い製品を医療現場に提供することを通じ、更なるビジネスの拡大への取り組みを進めております。2022年12月に株式会社Bolt Medicalを株式取得し連結子会社化しましたのは、脳血管内治療分野において将来に向けた成長への投資を行うことにより、この計画の達成に向けての取り組みの一環となります。

販売面におきましては、人工透析用留置針「ハッピーキャスProFlex」と静脈留置針「スーパーキャス7」の拡販と普及を図り、インターベンション類において既存製品の改良品「スーパーシースCoat Plus」を投入し、不整脈治療用のブレイデッドシース「AbRoad STOUT」及びスティラブルシース「AbRoad FLEX」を上市するなど販促活動に努めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高16,448百万円（前年同四半期比5.9%増）、利益面においては、薬事関連費用の計上等で、販売費及び一般管理費が増加した影響により、営業利益3,319百万円（同4.8%減）、経常利益3,393百万円（同4.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,128百万円（同1.6%減）となりました。

当社の商品区分である品目別の売上高は以下のとおりであります。

人工透析類におきましては、5,853百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。静脈留置針類におきましては、4,618百万円（同13.4%増）となりました。インターベンション類におきましては、5,966百万円（同2.7%増）となりました。

なお、当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末比（以下前期末比という）640百万円増（1.3%増）の51,698百万円となりました。

流動資産は同1,537百万円減（4.0%減）の37,004百万円、固定資産は同2,177百万円増（17.4%増）の14,694百万円となりました。

流動資産減少の主な要因は、現金及び預金の減少2,141百万円と、受取手形及び売掛金の増加810百万円によるものです。

固定資産のうち有形固定資産は、同317百万円減（2.9%減）の10,517百万円となりました。

無形固定資産は、同2,659百万円増（2100.1%増）の2,786百万円となりました。

無形固定資産増加の主な要因は、買収よりのれんが2,726百万円増加したことによるものです。

投資その他の資産は、同164百万円減（10.6%減）の1,390百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前期末比278百万円減（5.3%減）の5,007百万円となりました。

流動負債は同292百万円減（6.6%減）の4,122百万円、固定負債は同14百万円増（1.7%増）の885百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前期末比918百万円増（2.0%増）の46,690百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払いにより、差引き利益剰余金が617百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は90.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

なお、2022年12月23日に公表いたしました株式会社Bolt Medicalの株式取得による連結子会社化が当期連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、業績予想に修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,118,088	25,976,174
受取手形及び売掛金	5,004,407	5,814,977
金銭の信託	1,500,000	1,500,000
商品及び製品	1,506,991	1,367,587
仕掛品	1,450,174	1,402,252
原材料及び貯蔵品	669,669	778,600
その他	292,594	165,011
貸倒引当金	△501	△582
流動資産合計	38,541,423	37,004,022
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,629,000	3,677,678
機械装置及び運搬具(純額)	2,370,153	2,870,401
工具、器具及び備品(純額)	1,503,663	1,545,633
土地	2,413,809	2,398,072
建設仮勘定	918,039	25,783
有形固定資産合計	10,834,667	10,517,569
無形固定資産		
のれん	—	2,726,389
その他	126,630	59,627
無形固定資産合計	126,630	2,786,016
投資その他の資産		
投資有価証券	927,705	881,251
保険積立金	65,222	65,223
繰延税金資産	419,674	303,016
その他	143,320	141,835
貸倒引当金	△750	△750
投資その他の資産合計	1,555,173	1,390,576
固定資産合計	12,516,470	14,694,162
資産合計	51,057,894	51,698,185

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,575,802	2,454,426
未払法人税等	604,515	602,047
賞与引当金	397,344	212,685
その他	837,158	853,200
流動負債合計	4,414,819	4,122,360
固定負債		
退職給付に係る負債	84,555	82,783
資産除去債務	17,073	20,517
その他	769,127	781,913
固定負債合計	870,757	885,214
負債合計	5,285,577	5,007,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,250	1,241,250
資本剰余金	10,378,585	10,384,459
利益剰余金	37,165,423	37,783,400
自己株式	△3,256,561	△3,243,544
株主資本合計	45,528,697	46,165,565
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	107,618	142,437
為替換算調整勘定	100,052	373,619
退職給付に係る調整累計額	35,949	8,987
その他の包括利益累計額合計	243,620	525,044
純資産合計	45,772,317	46,690,610
負債純資産合計	51,057,894	51,698,185

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	15,534,928	16,448,251
売上原価	9,206,563	10,017,815
売上総利益	6,328,365	6,430,435
販売費及び一般管理費	2,840,331	3,110,525
営業利益	3,488,033	3,319,909
営業外収益		
受取利息	1,953	2,434
投資事業組合運用益	833	—
受取配当金	15,485	15,363
受取地代家賃	33,411	31,449
売電収入	17,336	18,683
その他	36,580	25,023
営業外収益合計	105,600	92,954
営業外費用		
支払利息	5,508	5,629
投資事業組合運用損	—	740
為替差損	28,379	160
減価償却費	3,113	3,038
売電費用	8,489	7,821
その他	1,826	2,256
営業外費用合計	47,317	19,647
経常利益	3,546,317	3,393,216
特別利益		
固定資産売却益	—	5,981
会員権売却益	118	—
段階取得に係る差益	—	124,971
特別利益合計	118	130,953
特別損失		
投資有価証券評価損	31,708	—
減損損失	55	—
固定資産売却損	21,373	1,606
固定資産除却損	5,480	15,706
特別損失合計	58,618	17,312
税金等調整前四半期純利益	3,487,817	3,506,857
法人税、住民税及び事業税	893,178	1,263,825
法人税等調整額	432,697	114,739
法人税等合計	1,325,876	1,378,565
四半期純利益	2,161,941	2,128,292
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,161,941	2,128,292

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,161,941	2,128,292
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,439	34,819
為替換算調整勘定	111,887	273,567
退職給付に係る調整額	△105,084	△26,962
その他の包括利益合計	8,242	281,424
四半期包括利益	2,170,183	2,409,716
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,170,183	2,409,716
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

当社グループは、医療機器の製造・販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2022年12月23日開催の取締役会において、株式会社Bolt Medical(本社：東京都中央区)の発行する株式及び新株予約権の全てを取得することに合意し、連結子会社化することを決議いたしました。また、2022年12月26日付で株式譲渡契約を締結し、当該譲渡契約に基づき同日付で同社の全ての株式を取得しております。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

会社名称：株式会社Bolt Medical

事業内容：血管内治療用医療機器の研究・開発・製造

② 企業結合を行った主な理由及び根拠

当社は、2021年12月に発表した中期経営計画“NEXT300”において、次なるステップとして売上高300億円を目標とし、より良い製品を医療現場に提供することを通じ、着実なビジネスの拡大に取り組んでいくことを掲げています。今般の株式会社Bolt Medicalの子会社化もこの計画に基づく取り組みとなります。

株式会社Bolt Medicalは脳血管内治療用医療機器の研究・開発・製造を行っており、医療現場のニーズに迅速に応えかつ創造性豊かなスタートアップ会社となります。

超高齢化社会と言われる中で、健康寿命と平均寿命の乖離がクローズアップされており、特に脳血管疾患の死亡率(第4位)、年間医療費(約1兆8千億円)の増大が大きな社会問題となっており関係学会や国の政策のもと改善策が図られております。

脳血管疾患(脳動脈瘤、頭蓋内狭窄症等)の大半を占める脳卒中患者における脳血管内治療は、開頭手術と比較し、患者様にとってより低侵襲治療であり、近年の治療デバイスの急速な進化や海外からの高品質な製品の参入、併せて学会主導による医師の技術向上から治療成績・安全性の向上が図られ治療件数は増加を辿っております。

脳血管内治療において治療デバイスを目的血管に挿入・留置するためにはカテーテルをより治療血管の近位部となる(遠位)血管に挿入することが求められます。すなわち治療を安全・確実に実施するためには軸となる基盤(カテーテルのシステム構築)が絶対条件となります。

一方ではカテーテル操作による挿入・留置までの時間経過が患者様の予後に大きく影響を及ぼします。医師による技術向上は図られているもののカテーテルの挿入位置の不確実性による治療時のストレスはいまだ解消はされておられません。

また上述したように脳血管内治療デバイスそのものの進化はあるものの、脳血管は蛇行が著しく繊細な血管であるため、それら治療デバイスを運ぶためのカテーテルの遠位挿入時のリスク(血管損傷[攣縮・スパズム・解離]、ガイドワイヤーによる血管穿孔・出血性合併症、手技による梗塞等)は常に隣り合わせにあります。

株式会社Bolt Medicalで開発された製品はこのような脳血管内治療時のリスクやストレスを回避し、治療を実施するためにより適切な位置にカテーテルを挿入支援するためのもので、国内外の経験豊富な医師の発想及び知見から開発を強く希望された世界に類のない製品となります。脳血管内治療の手技を根本的に変える可能性があり、かつ高い技術と品質をもった画期的な製品であると確信しております。この製品によって今まで以上の安全性と治療効果が期待できより難易度の高い治療についても低侵襲な血管内治療を選択できるものと考えております。当社は、脳血管内治療を安全に確実に実施し、患者様への治療貢献が高まる製品を扱うことで社会貢献するとともに、弊社の成長を図りたいと考えております。

当社は、創業50年を迎える会社であり、創業以来一貫して「透析事業」、「留置針事業」、「インターベンシヨ

ン事業」の3つの分野を堅実に邁進してまいりました。今後「インターベンション事業」は、治療領域に特化した自社製品の開発を進めると共に、特に脳血管内治療分野については株式会社Bolt Medicalの開発する製品を基盤として国内を問わずグローバル展開を進めて参ります。

日本で開発された国産デバイスを世界に向けて展開することで国内医療機器産業の活性化につなげたいというスタートアップ企業の強い思想を基に共に歩んでいきたいと考えております。

③ 企業結合日：2022年12月26日（みなし取得日 2022年12月31日）

④ 企業結合の法的形式：現金を対価とした株式取得

⑤ 結合後企業の名称：名称に変更はありません

⑥ 取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率9.97%

企業結合日に追加取得した議決権比率90.03%

取得後の議決権比率100.00%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が、現金を対価として株式を取得したことによるものです。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2022年12月31日をみなし取得日としており、貸借対照表のみを連結しているため、当第3四半期連結累計期間には被取得企業の業績は含まれていません。

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

企業結合直前に保有していた株式の企業結合日における時価	325,901千円
取得の対価 現金による株式取得の対価	2,531,593千円
取得原価	2,857,494千円

(4) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差益が124,971千円発生しております。

(5) 主要な取得関連費用の内容及び金額

デューデリジェンス費用等 8,260千円

(6) 企業結合契約に定められた条件付取得対価の内容及び今後の会計処理方針

①条件付取得対価の内容

取得の対価には、条件付取得対価を含めておりません。条件が成立した場合、632,406千円の条件付取得対価（アーンアウト対価）が発生する契約を締結しておりますが、現時点では確定しておりません。

(7) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

① 発生したのれん金額：2,726,389千円

なお、のれん金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

② 発生原因：取得原価が、受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

③ 償却方法及び償却期間：効果の発現する期間にわたって均等償却する予定です。償却期間については確定しておりません。